

研究概要

I 研究主題

「夢をもち、夢を実現する子ども」

1 研究主題設定の経緯

本校は、創立 139 年の伝統をもつ学校である。学区は、横浜駅西口やみなとみらい地区等の新しい商業地域が近くにある一方で、伝統の技を受け継ぐ職人が腕をふるう老舗や地域に根差した商店街があり、昔ながらの雰囲気が残っている。周辺には、横浜中央図書館や掃部山公園、野毛山動物園等、教育施設や緑豊かな場所がある。地域には、子どもたちの登下校を見守りあいさつや会話を交わしてくださる方や、子どもたちの学習活動や発表に励ましの言葉をかけてくださる方、子どもの質問や依頼に笑顔で答えてくださる方等、本校の卒業生やその保護者をはじめとして、学校と共に歩んできた地域の方々が多くいる。

こうした恵まれた環境の中で、戸部のまちの「ひと」「もの」「こと」との関わりを通して、自ら課題を設定し、追究し、振り返りながら学びを連続・発展させていく探究的な学習活動に取り組み、その過程で出会った対象（「ひと」「もの」「こと」）に対する捉えや自己の生き方を見つめ直す子どもを目指し、平成 15 年より生活科・総合的な学習の時間（以下、総合）の研究に取り組んできた。その成果として、地域との関わりを大切にしながら、そこに住む人々の幸せを願い、学級の仲間と共に、主体的・探究的に学びを展開しようとする子どもの姿が見られるようになってきている。

一方で、その間にも子どもたちを取り巻く状況は刻々と変化し続けてきた。学習指導要領の改訂も含め、生活科・総合に求められることやその在り方も、研究当初からは少しずつ変わってきている。その背景にある現在の社会に目を向けると、環境・エネルギー・国際問題・少子高齢化等、多様な問題が存在する。子どもたちが暮らす戸部の地域も例に漏れず、高齢化による担い手不足や身近な自然環境の減少、地域の防災に関わる諸問題等、解決の難しい問題がある。

そのような中で、地域と関わることや自分たちのやりたいことをやり抜こうとすることが、本校の生活科や総合の、いわば文化として定着しつつある今こそ、目の前にいる子どもたちには、社会や地域にある諸問題としっかりと向き合い、解決していこうとする大人になってほしいと考えた。以上のような経緯から、研究主題を「夢をもち、夢を実現する子ども」と設定した。

2 研究主題の意図

「夢をもち」とは、真に意味や価値のある、よりよい「～したい！」という思い・願いをもつことである。そのためには、自分のみならず、家族、友達、地域等の肌で感じることのできる隣人、ひいては社会、日本、世界、さらには環境、未来といった、ありとあらゆる他者のことを考えられることが重要である。そしてそれは、あらゆる他者との関わりの中で様々な事実や価値観に触れ、それらに関連付け、深めながら、自分自身の実生活の営み、実社会との関わりを更新・形成していくことで可能になる。

また、夢が夢のまま終わっては子ども自身が生きていく社会やそこでの生活は子どもの願うものになっていかない。「夢を実現する」ために必要な主体的に粘り強く追究しようとする態度や問題解決の過程で必要となる思考力、判断力、表現力等の力を子どもたちに育てていく必要がある。

以上のような考えに基づき、「夢をもち、夢を実現する」ための、目指す子どもの姿については、これまでの実践や新学習指導要領等を踏まえ、学校教育目標に沿って、次の通りに整理した。

【夢をもち、夢を実現する子ども】

- i 戸部のまち（子どもたちの家庭・学校・地域における、実生活の営みや実社会との関わり）や自分自身を見つめ直し、よりよい戸部のまちを目指して夢をもち、その実現に向けて粘り強く追究する。 <ゆめいっぱい戸部>
- ii 夢の実現に向けて、課題を見出し、その解決に向けて構想を立てて、方法を吟味しながら情報を収集し、それをもとに分析的に思考し、判断したり表現したりする。 <それぞれが飛べ>
- iii あらゆる他者と対話を通して双方向的に関わり、相手のことを理解し、信頼し合いながら力を合わせて取り組む。 <みんなで翔べ>
- iv 対象のもつ意味や価値を理解したり、自分自身の成長や変容に気付いたりし、戸部のまちに対して、さらに、よりよい夢を描き、実現しようとする。 <ゆめいっぱい戸部>

「夢をもち、夢を実現する」ということは、現実を直視し、そこからよりよい実生活の営みや実社会との関わり方を模索し、未来図を描いて、一步一步着実に現実に変えていくことである。

3 夢をもち、夢を実現する子ども（系統表）

目指す子どもの姿 <視点>		低学年	中学年	高学年
それぞれが飛べ	<課題の把握> 夢の実現に向けて解決すべき課題を見出して設定し、その解決に向けて、構想を立てる。(推論、見通し、順序立て等)	夢を実現するために何をすればよいか考えたり、必要なものを準備したりしようとする。	夢の実現に向けて、今、何をすべきかを明確にもち、またそのために必要なものを準備したり、取組の順番を考えたりする。	夢の実現に向けて、見通しをもって解決すべき課題を設定し、予想や仮説を立て、必要なもの・ことを具体的に順序立てて構想を立てる。
	<情報の収集> 手段を選択したり方法を工夫したりしながら情報を収集する。	身体を通して関わったり、対象に直接働きかけたりしながら、比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉え、違いやよさを見つける。	課題に沿って他者と関わったり、試行錯誤したりするなど、方法を工夫して情報を集める。	課題に沿って他者と関わったり、方法を吟味し、工夫し、体験したり、調査したりして情報を集める。
	<整理・分析> 課題に沿って、収集した情報を、整理・分析し事実を捉える。(比較、分類、関連付け、焦点化等)		比較したり、分類したり、関連付けたりしながら情報を整理し、事実を捉える。	比較したり、分類したり、関連付けたりしながら情報を整理したり、課題に沿って判断するために必要なことを焦点化したり捉え直したりする。
みんなで翔べ	<協働> 夢の実現に向けて力を合わせて活動に取り組む。	友達と一緒に、互いのことを気にかけて合いながら協力して活動し、そのよさを感じ取る。	友達の存在を意識し、一緒に活動するよさを大切にしながら、課題の解決に向けて協力して活動する。	友達と互いに信頼し合いながら、課題の解決に向けて役割を分担したり、支えあったりして協力して活動する。
	<対話> 仲間や対象と双方向的に関わり合う。	互いのよいところを見つけて共感したり、自分と違う意見や考え方がることに気付いたりして、それを自分の考えに生かそうとする。	相手が伝えようとしていることを意識しながら聴き、自分の意見と比べよさや違う点を見つれたり、つなげたりしようとする。	相手の立場や意図を意識し、自分の考えと比較しながら、批判的に聴いたり、共感できる部分を見つれたりし、一緒に判断したり結論を出したりしようとする。
	<自己理解> 自己の成長や変容を見つめ直し、可能性に気付いたり、自信をもったりする。	体験や活動を通してできるようになったことや新たに学んだことを見つめ直し、その変化や成長に気付き、自信をもったり自分らしさを大切にしようとする。	課題解決の過程を通してできるようになったことや分かったことを見つめ直し、新たな解決の仕方や対象の捉え方が身に付いたことに気付き、自信をもったり、自分らしさを大切にしようとする。	課題解決の過程を通してできるようになったことや分かったことを見つめ直し、解決の仕方や対象の捉え方が変化・成長したことを自覚し、自信をもったり、自分らしさを大切にしようとする。
ゆめいっぱい戸部	<気付き> 追究を通して出会う、戸部のまちの「ひと・もの・こと」のよさに気付く。	追究を通して関わった対象の不思議さや楽しさ、自分との関わりに気付く。	追究を通して関わった対象のもつ意味や価値、学習活動を支えたり見守ったりしてくれた人々の存在等、戸部のまちには魅力的な「ひと」「もの」「こと」があふれていることに気付く。	
	<思い・願い> 戸部のまちに夢をもち続け、その実現に向けて、主体的に、粘り強く追究し続ける。	自分自身の家庭や学校・地域での生活を振り返り、やりたいこと(=夢)を見つべ、よりよい活動や生活を目指して自分から進んで取り組もうとする。	生活経験や学習経験を見つめ直し、興味・関心のあることから、自分たちの力で成し遂げたい目的(=夢)をもち、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする。	生活経験や学習経験、実社会の問題等を見つめ直し、戸部のまちにとって意味や価値があると考えられる目的(=夢)を見出し、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする。

4 戸部のまちの「ひと」「もの」「こと」の視点

全学習材に共通	地域・学校	<ul style="list-style-type: none"> 戸部のまちには、魅力的な「ひと」「もの」「こと」がたくさんあふれているということ。それらは、自分たちの生活とつながっていて、自分たちの生活を豊かで持続可能なものになっているということ。 自分も家庭や学校、地域の一員として、よりよくそれらと関わっていく必要があるということ。
	キャリア	<ul style="list-style-type: none"> 地域には自分たちの活動を温かく見守り、支えてくれる人がたくさんいるということ。 身の回りには優れた知恵や技、熱い思いをもって、真摯に仕事や取組に打ち込んでいる人がいるということ。
各学習材に固有	環境・生命	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの自然環境(身近に存在する動植物等)は、自分たちの生活を含め、つながり、関わり合っているということ。 身の回りの自然環境(身近に存在する動植物等)は有限で、大切に守らなければならないということ。
	文化	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りには先人が築き上げてきた様々な文化(事物)があり、そこにはその文化に固有の思いや知恵が凝縮されているということ。 自分が属する文化とは異なる文化が存在し、そこには尊重すべき面白さや奥深さがあるということ。
	ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの手で何かを創り上げたり成し遂げたりすることで生活が豊かで持続可能なものになるということ。
	防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りには、自分たちが安全に、安心して暮らせるような様々な仕組があること。また、そのために努力している人がいるということ。
	食・健康	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活の中には、健康に生きていくための知恵や、それを普及していくための取組等があるということ。
	福祉	<ul style="list-style-type: none"> 地域には多様な人が暮らしていて、互いに支え合い、尊重し合っていること。またそのための仕組があるということ。

